

国際演劇年鑑 2020 Theatre
Yearbook

国際演劇年鑑2020 2020 特集企画

THEATRE BOARDS IN

文化庁
国際演劇協会日本センター

紛争地域から
生まれた演劇シリーズ

CONFLICT ZONES

日本初訳初演
①リーディング上演トーク

東京芸術劇場アトリウエスト(地下1階)

12/13(金) 19時30分開演

12/14(土) 15日 14時開演

リベリアン・ガール

作=ダイアナ・シナカ・アトウオナ(UK)

翻訳=小田島創志 演出=稲葉賀恵(文学座)

*12月12日(木)立教大学にて関連企画あり

文化庁

国際演劇協会日本センター

東京芸術劇場アトリエウエスト(地下1階)

紛争地域から 生まれた演劇シリーズ

日本初訳初演(リーディング上演)

「紛争地域」とは対立や緊張による葛藤が生起する場所のことであり、必ずしも特定の地理的領域に限定するものではありません。



1992年、第一次リベリア内戦只中のリベリア。

14歳の少女マーサは反政府軍から身を守るため男装し、少年兵としての日々がはじまって――

イギリス生まれのナイジェリア人作家、ダイアナ・ンナカ・アトウオナのデビュー作。2015年1月、ロイヤルコート劇場初演。

12/13(金) 19時30分開演

12/14(土) 15(日) 14時開演

※14日、15日には各回上演後にトーク開催予定

リベリアン・ガール Liberian Girl

作=ダイアナ・ンナカ・アトウオナ Diana Nneka Atuona

翻訳=小田島創志 演出=稲葉賀恵(文学座)

出演=磯田美絵 永宝千晶 山本道子 ケイン鈴木

奥田一平 川辺邦弘 横田栄司(声の出演)



ダイアナ・ンナカ・アトウオナ: UK 生まれのナイジェリア人作家。ロンドン南部のベッカム出身。サウスバンク大学で国際政治を学んだ後、奨学生としてグレイ法曹院へ進学するも、劇作家・映画作家への志を断つことはなく、ロイヤルコート劇場の作家グループ (Invitational Group) のメンバーとなる。2011年から翌12年には同劇場「ローカルプロジェクト(Local Project)」のプロジェクト・オフィサーを務めた。現在、ロイヤルコート劇場およびオールド・ヴィック劇場と契約中。デビュー作「リベリアン・ガール」は2013年に Alfred Fagon Award を受賞。Varity Bargate 2013 (ソーホー劇場) でトップ25入り、Brunwood Prize 2013 では最終候補入りを果たした。2014年、性暴力撲滅サミット (The Summit to End Sexual Violence) での解説付きの上演に続き、2015年1月にロイヤルコート劇場で上演。Evening Standard Theatre Awardにもノミネートされた。

料金

1,500円(学生1,000円)

当日精算/全席自由

受付開始・開場: 開演30分前

ご予約・お問合せ

E-mail: ititicket@gmail.com

Tel: 03-3478-2189

国際演劇協会日本センター/平日11時~17時

Web予約: CoRich! 舞台芸術

*メールでお申込の際は件名を「「紛争地域から生まれた演劇11」申込」として以下5点を明記のうえお送りください。また、ITI会員の方、学生の方はその旨お知らせください。

- ①氏名・ふりがな、②希望日時、③人数、④電話番号
- ⑤ititicket@gmail.comから受信可能なメールアドレス

*会期中は090-7255-0814までお問合せください。

予約受付開始

2019年11月12日(火) 11時

詳細は、ホームページ、Facebook、Twitterにて随時お知らせします。 <http://iti-japan.or.jp/>

【関連企画】(トーク) イスラエルの現代演劇——モティ・レルネル「イサク殺し」を中心に——

12月12日(土) 19~21時 立教大学池袋キャンパス本館1204教室 入場無料(予約優先)

講師: 村井華代(共立女子大学文芸学部教授/西洋演劇理論・イスラエル演劇研究)

聞き手: 大谷賢治郎(演出家/company ma 主宰)

紛争当事国でありながら、ダンス、音楽、映画などアートの領域で近年ますます存在感を高めるイスラエル。演劇も、多様な社会を映し出して非常に盛んです。しかし、その日常の中で、舞台上に描き出されるのはどのような現実なのでしょう。

イスラエル版「マラー/サド」と言われる「問題作」、PTSD リハビリセンターで入所者が演じるイツハク・ラビン首相暗殺劇を描くモティ・レルネル(1949~)の「イサク殺し」(1999)から、イスラエルの現代演劇の諸相をご紹介します。

*「イサク殺し」は2020年、「紛争地域から生まれた演劇12」でリーディング上演予定。これまでドイツとアメリカで上演されているが、イスラエル国内ではその内容の政治的・道徳的挑発性ゆえに、劇場での上演には至っていない。

ご予約、お問合せは上記と同じです。



池袋駅西口より大学正門まで徒歩約7分
地下鉄東京メトロ丸の内線/有楽町線/副都心線 池袋駅西口より大学正門まで徒歩約7分
有楽町線/副都心線 要町線6番出口より大学正門まで徒歩約6分
西武鉄道西武池袋線池袋駅西口より大学正門まで徒歩約7分
西武池袋線椎名町駅北口よりマキム門まで徒歩約12分
JR各線・東武東上線・西武池袋線・東京メトロ丸の内線/有楽町線/副都心線「池袋駅」下車。西口より徒歩約7分。

公益社団法人 国際演劇協会 日本センター

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-18-1 国立能楽堂内

「紛争地域から生まれた演劇11」

文化庁委託事業「令和元年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」

主催=文化庁 公益社団法人 国際演劇協会日本センター

共催=公益財団法人東京歴史文化財団 東京芸術劇場

企画制作=公益社団法人国際演劇協会日本センター

文化庁
Agency for Cultural Affairs, Government of Japan

International Theatre Institute

東京芸術劇場
Tokyo Metropolitan Theatre

文化庁委託事業、東京メトロ主催
Tokyo Tokyo
FESTIVAL

総合プロデューサー▶林英樹

票券・制作補佐▶Real Heaven 舞台監督▶中野雄斗 音響▶大西香織

協力▶国際演劇評論家協会(AICT)日本センター/一般社団法人日本演出者協会/一般社団法人日本劇作家協会(五十音順)

文学座

チラシデザイン▶奥秋圭